

指定管理者評価票(評価対象年度:令和5年度)

施設名	もとまち児童館、第一・第二東元町学童保育所	所属名	子ども家庭部 子ども子育て支援課
指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズ・センター事業団	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
施設の設置目的	保護者の就労等により昼間適切な監護を受けられない児童に対し、適切な遊びと生活の場を与え、健全な育成を図る。		
事業概要	子どもに対する生活の場の提供、子どもの健全育成に係わること。		

単位:円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計
収入	59,291,380	61,172,608	63,747,823	184,211,811
収入内訳	指定管理料	59,291,380	60,273,433	182,348,705
	利用料金	0	0	0
	その他	0	899,175	963,931
支出	59,242,108	61,172,608	63,075,764	183,490,480
収支差額	49,272	0	672,059	721,331

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	児童館の乳幼児向け行事が増え、土曜日も4人体制となっており少し人件費の増は見られるが、収支計画に基づき適正に執行されていた。	3	3
業 務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	協定書、仕様書を再確認し実施すべき業務を遺漏なく実施している。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	4	市の条例等に基づいた開館・開所日数及び開館・開所時間を遵守している。学童保育所においては、登所児童の把握ミスを防ぐため、ホワイトボード等で複数確認の工夫を確認した。	4	4
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	4	1回目のモニタリングから引き続き、児童館・学童ともに、市の条例等に基づき、適正な職員配置を行っている。	4	4
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	防火管理者を確保しており、施設内に掲示している。学童は、放課後児童支援員を必要数確保している。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類は、鍵のかかるキャビネットに保管している。協定書・仕様書に基づき必要な報告は、遅れることなく報告している。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	4	前回から引き続き、児童館・学童ともに遊具や児童ロッカー等の消毒を行っている。各部屋の床・水回り・トイレ・空調機フィルター等こまめな清掃を行っており、施設を清潔に保っている。また、施設周りの掃き掃除・草むしり・植込みの手入れ等施設全体の整備を徹底し、近隣住民へ配慮している。	4	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	予定されていた点検等は遅滞なく実施されていた。	3	3

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		3箇年平均	
利用者数 利用件数 利用率	もとまち児童館	14,209人	もとまち児童館	18,331人	もとまち児童館	22,214人	もとまち児童館	18,251人
	第一東元町学童	97.2%	第一東元町学童	116.3%	第一東元町学童	141.1%	第一東元町学童	118.2%
	第二東元町学童	37.6%	第二東元町学童	27.8%	第二東元町学童	39.6%	第二東元町学童	35.0%
	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)		※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)		※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)		※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	
利用者満足度(%)	もとまち児童館	98.0%	もとまち児童館	96.0%	もとまち児童館	92.0%	もとまち児童館	95.3%
	第一・第二東元町学童	97.4%	第一・第二東元町学童	94.3%	第一・第二東元町学童	97.4%	第一・第二東元町学童	96.4%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	利用者アンケートを10月に実施。全体に対しての満足度において、94.7%が「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答し、引き続き高い水準を維持している。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	児童館では、誰でも自由に書ける「じどうかんノート」から要望を聞き取り活動へ生かしており、普段の活動の中でも児童の意見を積極的に取り入れている。学童では、実際に遊びと学習の時間への要望があり一日の保育の流れの見直しを図った。	4	3
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	利用者アンケートの職員に対しての満足度において、96.5%が「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答し、引き続きとても高い水準を維持している。	4	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	苦情の発生はなかった。児童館では、怪我発生時、速やかに保護者に連絡対応を行っており、職員間の情報共有とともに、見守りのタイミングや職員配置の明確化などを再確認していた。学童では、保護者から子ども同士のトラブルの相談があった場合には、すぐに職員間で情報共有し、双方の子どもから話を聞くなど早急に対応し保護者へお知らせしていた。	3	3
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	書類はファイリングし施設の上整然と書庫へ格納しており、データは適正に保存していた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	3	危機管理、安全衛生推進者、リーダー研修等団体による研修の他、市主催の応急救護、エビエンアレルギー、レクリエーション研修等支援力向上への意識をもって受講している。	3	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	児童館には障害のある方が大人の引率のもと訪れる機会がある中で、互いの特性を認め合い、自然な関わり合いができるよう言葉掛けを職員が積極的に行っている。学童では、一人一人必要に応じてできる限りの対応を行い、全員が同じように参加できる内容にするなど工夫を行っている。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設の 水の 準の 特性 の評 価に 応じ た	自然災害等への対応	4	避難訓練については計画通り実施していた。児童館では、訓練の時間帯に来館していた全ての保護者や子どもたちが参加する訓練を行っていた。職員のみ訓練も定期的に行い、いざという時に速やかに子どもたちを誘導できるよう設備の確認やシミュレーションも行っていった。学童では、3.11の被災経験をともに子どもたちに語り伝えていた。		
	学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組について	4	児童館では、地域の農園の畑で収穫体験や、地域の人材を生かしたマジックショーの開催等地域交流を深めていた。地域柄、もとまち公民館・図書館、地域センター、さわやかプラザもとまちとの連携では地域会議をとおして情報共有を深め、地域のネットワークを構築していた。学童ではキッズプログラミングワークショップを開催する等、地域交流を深めていた。		
	配慮を要する児童への対応について	4	児童館では、年間をとおして学校への行き渋り等児童対応があるが、安心な居場所となるよう寄り添った対応をしていた。学童では、アレルギーのある児童の、誤食がないようチェックシートによる確認体制をとっていた。運動による誘発性アナフィラキシー防止のため食休みの徹底も引き続きしていた。		

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指標	評価項目	有無	実施状況	有無	前年度	前々年度
関実提選 実案定 施案時 する状 評況容 価のの	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直して実施した場合を含む)	有	提案 有無 有 実施 有無	提案 有無 有 実施 有無
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直して実施した場合を含む)	有	提案 有無 有 実施 有無	提案 有無 有 実施 有無

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	<p>児童館については、利用者の方々が参加した会議や誰でも自由に書ける「じどうかんノート」から出された意見・要望等を踏まえ、乳幼児親子や小学生以上を対象とした各種行事を企画実施するとともに、地域農園での収穫体験や地域で活躍する人材を招いたマジックショー開催等の行事も実施され、地域と連携した取組が展開されていた。また、昨年度に引き続き好評であった中高生が事前の準備も含めて運営スタッフとして参加した「夜の児童館探検」を実施し児童同士が仲間意識を高める場を保障していた。</p> <p>学童保育所については、狭あい状況の中、学校の協力を得て学校施設を借用して分散保育を行いつつ、毎日の職員ミーティング等で障害児やアレルギー児の対応について情報共有等を行いながら、安心・安全な保育が実施されていた。また学年ごとに「ふれあいカフェ」を開催し、普段子どもたちが遊んでいる様子が伝わり、より安心していただけた。</p> <p>今後も、学校及び地域等とのつながりや利用者とのコミュニケーションを大切にしながら、利用者のニーズを捉えた様々な行事等を実施するとともに、安心・安全な施設の管理運営に努められることを期待したい。</p>	3	3
主管課長：子ども子育て支援課 氏名：山元 めぐみ				

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	<p>児童館・学童ともに、利用者の安心・安全を保てるような活動を行ってきた。</p> <p>児童館利用が多世代利用が増えていくなか、職員間で利用者の意見や要望に沿って、出来る範囲で取り組むことが出来た。</p> <p>学童でも、利用者や地域、各種関係機関と連携を取りながら児童一人一人への丁寧な対応に繋げてきた。</p>	3	4

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	<p>中高生がスタッフとして参加する夜の児童館探検を実施したり、開館時間を午後8時まで延長したりするなど、中高生の居場所づくりの取組を実施していた。また、近隣の方を講師に招き、子どもと保護者が参加できる体験教室を実施するなど、地域との連携も図っていた。苦情は無く丁寧な施設運営が見て取れる。引き続き、子どもや保護者の声を聴きつつ、丁寧な施設の管理運営に努めていただきたい。</p>	3	3